

心耕

西光寺の草刈り

6 6 2 5

今月の行事

○十二日(水) 常例法座 午後一時より
法話担当：若住聡

○二十三日(日) 日曜法座 午後一時より
法話担当：住聡

池上の
写経

十四日(金) 午後二時より
十九日(水) 午後六時より

三島山の
勉強会 十二日(水)
午前十時より

今回は一回だけです。

○五日(水) 六日(木) 京都・西本願寺

○伝燈奉告法要参拝(東寺教区
4葉組主催)

西光寺からは若住聡が引率して十二名でお参りします。
来年度は十一名でお参りする予定です。(二泊三日)
来年度五月二日には現地集合解散の参拝があり住聡が
参拝します。

草刈り
9日(日) 08:00
天候の都合は
16日に延期
御加勢お願い
します。

毎朝
6時30分
御晨朝
(おんあさ) お参り
下さい

新幹線にへびが出た。体長三〇センチ程のシマヘビの子供。どこから波浪ぎれ込んだらしい。私にとってはホッとする話で、三〇四〇年前、新幹線の座席の足下にコキブリを見つけたときと同じく「大したもんだ、ちゃんと生きている」感動するの覚えたのです。地に這いつくばり、泥水の中で泳ぎ、砂ぼこりの中でゴキヤンと立っている。格好よくとは仲間いかないが、血と汗と涙を流す生かすものが、群れとして生きています。この世で大抵なものは、タイリググに「調に無責任」とおんこの世は無責任。コソコソやる奴御苦労さん。植木等が歌った皮肉が皮肉でなくなった。ひびきおんこ

まどいの眼には

見えねども

ほとけはつねに

照します

Although we cannot see through our deluded eyes, the Buddha illuminates us constantly.

煩惱障眼雖不見 大悲無倦常照我

(真宗勸行集 三〇頁)

真宗七高僧第六祖、源信和尚の『往生要集』から

引用されてあるところです。

十五歳の時、母の厳しい戒めにより自らの驕りを論さ

れた和尚は、それから一度も比叡の山を下りることなく

生涯を仏教の修学に費やされ、四四歳で『往生

要集』を著されました。その序文に「予がことき頑魯の者」

と自らのことを述べられてあります。「頑魯」とはかたくな

で愚かなという意味です。

仏教、特に浄土教では聞くほどに学ぶほどに人自らの

底知れぬ愚かさに気付かされていきます。その愚かさに如来
の大悲が確かに至り届いていると領かされて、仏教を知
り・聞き・学んでみ教えに出あえた多くの縁を喜べるので
す。親鸞聖人は親子の縁に譬えて『如来一切のために、つ
ねに慈父母となりたまへり。まさに知るべし、もろもろの
衆生は、みなこれ如来の子なり』と述べられてあります。

源信和尚 母の戒め

今の奈良県当麻町に生まれた源信和尚は七歳で父と死別、九歳の時比
叡山に出家。勉学に秀で機知に富むこと並はずれてわずか十五歳で『称
讚浄土経』を村上天皇の前で講じた。好評を博し感状と褒美の品を頂い
た。喜んだ和尚はさっそく故郷の母に便りとともに頂いたものを送った。
母からの返事は和尚の思いにもかけないことが書いてあった。母がどう
いう思いで和尚を出家させたか、また案じていたかがつづられた後に
一首の歌が詠まれていた。

のちの世を 渡す橋とぞ 思ひしに

世渡る僧と なるぞ悲しき

まことの求道者となり給へ

一味

いちみ

「お前たち、〇〇の一味だな」

「一味唐辛子」



一味の使い方はいくつもあるようですが、仏教では前者

の使い方のほうが多いと思います。後者の一味唐辛子の「一

味」は、混じりけの無い、純粹などという使い方ですが、依然

興味深い話をラジオで聞きました。

“現代は、SNSなどで、世界中の人々とつながるようにな

った。しかし、視野が広がったのかと言えばそうではない。

反対に、自分の許容する範囲の人としかつながらないよ

うになっている。煩わしい現実の人間関係を避け、インター

ネットで安易につながることができ。それは、排他主義に

発展しやすく、プログ炎上などの一斉攻撃となる。つまり、

他の価値観を認められなくなってきている。”

正信僞には、如衆水入海一味と、どんな川も海にたどり着

けば、同じ塩味となるように、どのような人も、みな阿弥陀

如来の本願の海に入り等しく救われる、とあります。

違いを認めあい、グローバル主義は

排他主義を招く一因となりやすいこと

も忘れてはならないと思います。



台詞「来なさい」と願う時、外国で涙を流す人かいる。老行取

仏教用語

こゝろこゝろ

身近な仏教用語を紹介しています。

一文不知

いちもんふち

文字が読めない人を一文不知といいますが、浄土宗の

法然聖人は、阿弥陀如来の光に照らされて、我が身の程

を映し出されて、自らを一文不知の愚鈍の身であると言

われました。本当の知識人はこのような方だろうと思

います。

立川志の輔さんの初期の新作落語に「みどりの窓口」

があります。舞台は東京駅のみどりの窓口。駅員さんが

ある日さんさんな目に合う。指定席がないと言うと国会

議員の分があるだろうという客、大量の注文したものの

大安かどうか分からないからと帰ってしまう老夫婦。次

に来たのが江戸っ子の親父。業務が終わり、友人と居酒屋

で愚痴を言う、駅でお客さんにされたことと同じこ

とを、いつのまにか居酒屋の店員にしていた・・・。

人のことはよく見えてもわが身のこ

とはなかなか見ることができません。

手を合わせることは、なかなか気づか

ないわが身を、仏さまに映し出させて

頂くことでもあるのです。



各種のご案内

・心耕発送者募集！

毎月皆様のお手元に届けられる心耕。この心耕は、有志のご門徒にお手伝いいただき発送をしています。この発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態…三カ月に一度 主に月初めの平日
時間…一〇時～一二時 特製ランチ付♪

・熊本地震災害義援金

皆様のおかげによりまして、73,720円（十月下旬）の義援金が集まりました。御協力有難うございます。受付しています。

・法名をご希望の方へ

法名は、正式には生前にいただくものです。十一月十二日に、築地本願寺に団体参拝をしますが、その際、法名をいただくことができます。ご希望の方は、西光寺まで連絡して下さい。

・メールマガジンのご案内

・毎月の行事、公開講座、子供会、落語会のご案内や4コマ漫画を、メールマガジンで配信。登録は、左記のQRコードを用いるか、saikohji@saikohji.netまで、氏名を記入し送信してください。

・ポストイングお手伝い募集

度々開かれる、子供会・公開講座・落語会のチラシを近所へ配布しています。もし皆様の中で近所の五十軒だったら回れる、この町内は回れる。このお店にチラシを置かせておられるなどありましたら、連絡して下さい。年に数回です。ご協力よろしくお願いいたします。

・庫裏についての報告

以前、お寺の敷地内に若住職家族が住む家を建てることができず、近くで土地を探すことになったと報告させていただきました。ようやくお寺から徒歩二分の所に家を建てられる段取りとなりました。年度内に完成できるよう動いています。

・初！野外紙芝居の報告

九月二四日木場公園で開かれたアースキヤラバン東京の紙芝居ブースにおいて西光寺紙芝居の出張をしてきました。張り切つて参りましたが、生憎の雨模様。だんだんと強く降ってきました。野外での難しさを知るとともに勉強になった一日でした。



・お朝事

毎朝六時半～七時、朝のお勤めをしています。主に正信偈を読みます。朝から声を出すことは気持ちがいいものです。

・草取り

十月九日（日）午前八時～九時
助太刀よろしく願いいたします。

・写経会

池上さんが講師です。いつでもどうぞ！
ノビノビとやっています。

壮年会 十九日 一八時～
婦人会 十四日 一三時～

・壮年会・婦人会主催の勉強会

三島さんが講師です。真宗の教えを知りたい方は是非！
壮年会 十月休み 十一月二日十八時～
婦人会 一二日 十時半～

・尺八愛好会

十月休み

10月の法座案内

12日(水) 仏教入門法座 13:00~15:00

お勤め：正信偈

法話：若住職 節談説教 釈尊御一代記「王舎城の悲劇 前編」

あらすじ 80歳に近い年となられたお釈迦様。マガダ国の首都王舎城である悲劇が起こる。事の発端は、お釈迦様の従兄弟であり弟子であるダイバダッタの野望からだった・・・

仏教入門法座：テキストを用いて、お釈迦様の生涯を学びます。主に、王舎城の悲劇にまつわる話をするつもりです。

23日(日) 日曜法座 13:00~15:00

お勤め：正信偈

法話：住職 「まどいの眼には見えねども ほとけはつねに照らします」

今月の法話カレンダーは、正信偈の中にある「煩惱障眼雖不見

大悲無倦常照我」を意識したものです。親鸞聖人が源信和尚のおこころ頂いた言葉です。阿弥陀如来の親心を、住職が話します。

***送迎します。五井駅、自宅等々できるだけいたしますので、**

お寺に相談してください。遠慮は無用です^^

住職多感

琴奨菊、優勝した時の出足にはまだ至らず9勝6敗で9月場所を終えた。主役は豪栄道。全勝優勝。大阪のみなさんおめでとうございます。前に出ることさえ忘れなければ地方のある大関だから、悔しいけれど琴奨菊より期待できます。だが次場所は九州、琴奨菊が頑張らないはずはない。年の初めと仕舞いに優勝、夢ではないぞ。

築地はなじみのある所だから豊洲への移転問題、非常に気になっている。市場の人が端的に機知に富んだ言葉を話していた。「築地は食を預かる。食の字を分解すれば人を良くするとなる。人を止めると書いて企てと読む。企てばかりで何もかも止まっちゃめた」。

企てにうごめくものは無責任である。上意下達の一方通行しか知らないものは無責任を何とも思わない。土台が毒にまみれた土地に食の拠点を作るといふ発想。日本の科学技術をもってすれば安全を作り出すことができるという信念の抛り所は驕り。無責任でなければ驕りは生まれぬ。オリンピックにしても然り。スポーツ精

神の美談でことを進めていこうという魂胆だろが、金もうけが先に立ってそれをアスリートの純心で覆い隠そうにももうどうにもならなくなっている現実がある。なんで一番暑い時期の開催なのだ。応援に熱を上げる高齢者の、大量の熱中症による煮る死を期待する高齢者対策かと疑ってしまうぞ。それほどまでに無責任がはびこってしまったってどうにもならなくなっている。

その横綱が原発。福島原発の事後処理に手を焼き、福島多くの人々を今なお苦しめている現実を何が招いているのか。今なお無責任ばかりが大手を振って往來の真ん中を歩いている。地勢学では原発は日本においてはダメな施設と断定されるのだ。

無責任は平然と想定外と言い放つ。無責任は恣意的に自らの都合のよい所だけを事実と言い放つ。無責任は落ち着きを嫌いとどさくさを好む。無責任はやばそうになる。あほらしくてかなわん。南スーダンの自衛隊。危ない、早く帰ってきたほうがいい。

来月の行事

十二日(土) 築地本願寺参詣

二十五(土) 二十六(日) 二十七(月) 日

西光寺報恩講

写経会 十一日(金)・十六日(水)

勉強会 二日(火) 十二日は休み

報恩講(二十五・二十六・二十七)の御講師は例年通り高根山よりお呼びかけます。

呉き 草刈り 十三日
お唐 二十二日(火) 今年最後になります。

発行

浄土真宗 本願寺派 (西)

西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三二一

TEL. 0436-22-7412
FAX. 0436-24-1652
HP <http://saikohji.net>
MAIL saikohji@hb.tp1.jp